

ほうゆうたより 11^{NOV}月号

編集委員：施設長 池 功 司

毎年11月は忙しい月です。講演会やボランティア活動、文化祭に徘徊模擬、趣味のそば打ち昇段試験で埼玉に行ったりで、あっという間の11月でした。一息つく間もなく、師走となり、一年の終わりの足音がだんだん大きく聞こえてきます。一日が短すぎると思っているのは私だけでしょうか？ そんな中、埼玉の帰りに東京スカイツリーに行ってきました。地上634m、デカイ・高い・凄いとしか言葉が見つからず、スカイツリーを見上げるだけで首が痛くなります。事前に見学予約を入れ、朝早くから並んでようやくエレベーターに乗り、地上350mまで一分もかかったのでしょうか？ エレベーター内の彫金細工を口開けて見ている間に着きます。地上350mからの景色をゆっくり眺めたいのですが、人が多いと小さな子供が走り回り、落ちついて観れません。なぜ、子供は走るのでしょうか？ 450mも同じで、私たちの様なおのぼりさんでいっぱいです。見学者の半数は冥途の土産に訪れた方たちです。ですから、本当の土産売り場も大賑わい、店員さんが次から次にお菓子の棚に商品を並べていきます。財布からは福沢諭吉がどんどん出てゆきます。不景気・大震災・消費税値上げ、どこ吹く風、やはり日本は豊かな国だと、変に納得します。冥途の土産には、福沢諭吉が大勢必要です。



11/3~5日に行われた、美幌文化祭のホームのお年寄りたちの出展作品です。今年もホームのお年寄りたちの力作を、多くの町民に見て頂きました。毎年7月頃からコツコツ作り始め、なんとか間に合せています。年々お年寄りたちのパワーがなくなってきたのを感じています。でも、オリンピックと同じで、出展することに意義があると思っています。来年もお年寄りを「叱咤激励」し作品を作ります。



11/23、第3回目の徘徊模擬訓練を行いました。昨年の反省点は地域搜索班と、ホーム搜索班との情報共有がスムーズにいかず、同じ情報が重なったことです。今回の課題はコミュニケーションと薄暮時の搜索です。徘徊者役の職員には、途中で住宅の車庫の隠れるよう指示しました。徘徊者は疲れたり、寒くなると車庫や物置で休憩する事があるからです。それを想定した訓練でしたが、町内会の方とホーム職員とで無事発見して頂きました。来年も違う設定で実施します。ご参加頂いた、町内会の皆様有難うございました。

今月の行事予定

- 1・12/24 クリスマス会
- 2・12/28 もち付き・飾り付け